



裂田溝は、小柳地区の民家の軒先に寄り添うように、右カーブを描きながらゆつたりと流れています。この地区は農家が多く、農業用水の確保はもちろんのこと、裏城戸を開けると「汲ん場」があり、昔から水辺を上手に取り入れた生活の知恵が随所に活かされています。「水に感謝して、汚さないように心がけています。夏に体感する川風の心地よさと、水の流れて冷やしたスイカの味はたまりませんね」と、昔を語る古老の言葉を聞くと、自然をたくみに取り入れた暮らしは、まさに「エコ」を实践されていたのではな

次号は、散策コース表(3)を紹介します。



汲ん場(洗い場)

汲ん場は昔から台所の一部として利用されてきました。「こんにちは」と声をかけあって、散策の人々との会話ははずみます。



取水口-③ 木下堰

灌漑用水が最も必要とされる時期は、田植えの頃から夏の土用(7月中旬)頃までです。これを過ぎると土管の取水口を板などでせき止めて、田んぼへの水量調節が行われます。

さくたのうなで

散策コース No.2 (山田地区)

裂田溝と周辺の史跡景勝 21～37.

地域	No.	コースメモ		史跡メモ	
探訪86 裂田溝13		(旧) 山田バス停昭和53年築 (新) 平成17年6月改築			
	山田バス停周辺	21	汲ん場-ル	・ あずまや 東屋風山田バス停	・ 山田七天神の一つ(西地区)
		22	汲ん場-オ	・ ムクの木(西地区)	・ 山田西遺跡
		23	取水口-② おぎわらせき 荻原堰 と巻上げ	・ 山田七天神の一つ(歯科医院裏)	
				・ 将軍地藏(那珂川八十八ヶ所番外又)(中溝)	
				・ こくうそうぼさつ 虚空蔵菩薩(那珂川八十八ヶ所番外り) (にしちく) (西地区)	
国道385号の下が おぎわらせき 荻原堰になっている					
探訪87 裂田溝14	小柳地区①周辺	24	汲ん場-ワ	・ ひきじそう 日切り地藏(那珂川八十八ヶ所番外子) えますうまい 絵馬数枚	
		25	橋-5	・ 馬の川入れ(牛馬の水のみ場・洗い場)	
		26	汲ん場-カ	・ 水辺のハゼの木	
		27	汲ん場-ヨ	・ ホタルのすみか	
		28	橋-6		
探訪88 裂田溝15	小柳地区②周辺	29	汲ん場-タ	・ 橋げたの役割	
		30	汲ん場-レ	・ 堰と取水口の役割	
		31	橋-7	・ 将軍地藏 (那珂川八十八ヶ所66番札所)	
		32	汲ん場-ソ	・ 武家屋敷跡	
		33	橋-8	・ 馬の川入れ(牛馬の水のみ場・洗い場)	
		34	汲ん場-ツ	・ 山田七天神の一つ(田の中の地藏)	
探訪89 裂田溝16	小柳地区③周辺	35	汲ん場-ネ	・ 十一面観音 (那珂川八十八ヶ所67番札所)	
		36	橋-9 小柳	明治時代の蔵	
		37	取水口-③ 木下堰	水辺のタブの木とさつき・あじさい	

